

第2学年 英語科学習指導案

日時：令和2年7月16日 第〇限目

生徒数：男子〇人、女子〇人

授業者：

指導者：小泉仁先生

1. 単元名 NEW HORIZON 2

2. 単元について

(1) 教材観

本課は“英語落語”が題材である。公演ポスターやパンフレットを通して、日本の文化である落語の知識を深めることができる教材である。日本の文化が海外で受け入れられるための工夫や落語の面白さを学べる機会にしたい。言語材料として“**There is/are**”の構文と動名詞が導入される。前者を用いて空間を意識したタスク活動を行う事で場面と使用方に慣れさせたい。また後者を指導する事で生徒の英語表現の豊かさを広げたい。

(2) 生徒観

全体の傾向として、教師の発言や質問に対する反応が良く、ペア活動にも積極的に取り組んでいる。生徒は教師の英語での質問に対して日本語で答えてしまう傾向があるため、英語の授業は英語で答えるという意識をもたせる必要がある。失敗を恐れずに答えに自信がなくても声を出して考えを発言する生徒がいる一方、発言に消極的な生徒もいる。また、塾に通っている生徒と、英語を苦手とする生徒の間に差が生じているため、両方に適切な指示が必要とされている。

(3) 指導観

生徒が主体となって授業を進められるような展開にしたい。そのため、教師は一方向的な指導を控え、生徒同士が助け合いながら進めていく活動を多く取り入れていきたい。その中で、生徒の英語を使おうとする姿勢を励ましたい。新出単語に関して、カタカナ英語として日常的に使用されているものが多いため生徒のスキーマを生かしつつも、英語らしい発音に注意して指導する必要がある。本科の最終目的として、2つの言語材料活かした“街紹介”の活動を行う。ここで生徒たちは情報発信方法を取捨選択し、読み手を意識したライティング指導を行う。そのために、一つ一つの活動の目的を明確にし、最後の活動につなげていきたい。

3. 単元目標

- (1) 何があるのかを述べることができる。／自分の好きな事を述べることができる。
- (2) 日本の文化である落語について理解することができる

(3) 外国人に自分が住む街のおすすめを紹介できる

4. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①ペア／グループワークに積極的に参加しようとしている ②ジェスチャーなどを用いて工夫して言いたいことを伝えようとしている	①既習事項や新出事項を用いて、空間に存在しているものや好きなことを表現できる。 ②読み手を意識した音読や住んでいる街に関してライティングができる	①本文の内容を読んだり聞いたりして落語の特徴を理解することができる。 ②本文の単語が何を指しているのかイメージを膨らませながら理解することができる。	①落語そのものや海外の文化に対応した落語の変容を知る。 ②there is/are の構文と動名詞の文法事項を理解する。 ③日本語と英語の発音の違いを理解する

5. 指導計画

時	該当箇所	学習活動・学習内容
1	Unit6-1	Unit 6 導入、part 1・2 文法導入と活用（「There is/are」の構文）
2	Unit6-1	Part1 内容理解、アクティビティ（場所探しタスク）
3	Unit6-2	文法復習、part 2 内容理解 本文の音声化
4	Unit6-3	Part3 文法導入（V+～ing） part 3 内容理解
5	Unit6-3	Part 3 文法復習 part 3 内容理解
6	Unit6-4	Part 4 文法導入（主節の動名詞）内容理解
7	Unit6-4	内容理解と復習 “街紹介”の導入
8	Presentation2	“街紹介”のライティング活動

6. 言語材料

文法項目： “There is / are～”, “Is / Are there～”

新出単語： performer, several, character, simple, only, prop(s), fan, towel

7. 本時の目標

- (1) 落語がどのようなものなのかを理解することができる
- (2) ペアワークに積極的に取り組み、理解したことを共有することができる

8. 本時の展開

学習内容 (50分)	教師の支援	生徒の活動	指導上の留意点 ◎評価
<p>Greeting (3分)</p>	<p>挨拶する Hello, everyone. How are you?</p> <p>教師は 昨日部屋の片付けをした ことを話す</p> <p>Q いつも勉強している場 所と一番勉強しやすい場 所を尋ねる</p> <p>生徒同士で質問させる</p>	<p>教師の発言に反応し答え る</p> <p>教師の話聞く</p> <p>ペアで話し合う</p> <p>回答した生徒は次の生徒 へ同じ質問をする</p>	<p>・元気よく授業の挨拶をし て始める雰囲気を作る</p> <p>・個人に当てつつ全体を巻 き込むコミュニケーション を心がける</p>
<p>Review (7分)</p>	<p>PP で部屋の写真を数秒見 せ、なるべく詳細に覚えさ せる</p> <p>What are there on my desk? Q Is there a window? Q How many dolls are there? Q what do you see on my PC screen?</p>	<p>写真の情報を明確に記憶 する</p> <p>生徒は全員手で数や答え を表示する</p> <p>PC の画面は落語家</p>	<p>・TTT を最小にする ・生徒に答えさせながら進 めていく</p> <p>・肯定・否定・疑問の形を 強調させる</p> <p>・一単語答える生徒に は”There is...?”と elicit</p> <p>・復習としてリピートをさ せる</p> <p>◎エ②</p>
<p>単語の確認 (5分)</p>	<p>PPT でフラッシュカード を表示する</p> <p>新出単語の確認</p>	<p>意味を確認し、発音練習</p>	<p>カタカナ英語が多いので 英語らしい発音に注意</p> <p>◎エ③</p> <p>生徒のスキーマを結びつ ける</p>

	発音練習 ペアで1分ずつ	日→英 英→日	ジェスチャーと用いて理解を促す 指示は端的・明確に
Pre-reading (10分) 動画視聴	Q <u>What is rakugo like?</u> How do you tell foreigner about <i>rakugo</i> ? Talk with your partner. 机間巡視 教室全体でシェア GQ: What does he have? How many prop dose he have?	教師の説明を聞きペアで 意見交換 動画を見る a cushion a mike He has two props.	◎ア① 行き詰まっているペアに 対し「何人でやる?」「服 装は?」などヒントを与える 長すぎる TTT を控える
Reading (12分) 内容確認	ワークシートの空欄に何 が入るか考え、ワークシ ートに書き込むよう指示 「質問に対して“はい、い いえ”だけで答えないよ ね? You watched video, you can tell more information.」 書いたものを隣と確認す るよう指示 書いたものをクラス全体 でシェアする Do you have same answers? Who is yes/ no? 教科書で答えを確認	・ワークシートで会話を予 測する ペアで確認 教師の問いに反応し答え る 教科書を黙読する	・教科書はまだ開かないよ う指示 時間と様子を見て 他の stage set と比較して みる ◎ア①

	<p>黙読させる</p> <p>生徒の予測と教科書のギャップを指摘する</p> <p>Is there only a cushion? Really?</p> <p>Q「具体的に <u>different ways</u> って何かな</p> <p><u>He uses props in different way in the video.</u> What did he do with the props?</p> <p>Now, you can answer. Q What is <i>rakugo</i> like?</p>	<p>(予測される回答)</p> <p>No. There are cushion and a mike.</p> <p>He was writing a latter. He was drinking sake. He was eating <i>udon</i>.</p> <p>One performer plays several different characters.</p>	
音読練習 (11分)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の後リピート ・buzz reading ・ペアで交互 ・read and look up 	教師の指示に従い3つの方法で音読を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・指示を明確に ・区切りを正確に ・早く終わったペアへの指示
まとめ (2分)	<p>教科書を閉てと指示</p> <p>Q What is <i>rakugo</i> like? をワークに書き込む</p> <p>今日新たに学べたことを生徒でワークの振り返ってもらおう。</p> <p>次への授業予告をして期待させる。</p>	<p>教科書を閉じる</p> <p>One performer plays several different characters.</p> <p>生徒は今日学んだことを振り返える。</p>	<p>最初は見ないで書き込む 少し待ってから教科書見てもいいと指示する</p>